各　位

2026 年 11 月 9 日

セカンドサイトアナリティカ株式会社

セカンドサイトアナリティカ、SBI 証券のミドル・バックオフィス領域で AI エージェントを活用した業務自動化を支援

～AI エージェント型の業務自動化基盤を開発・提供し、安全に使い続けられる仕組みづくりと現場での伴走まで一体で担う～

セカンドサイトアナリティカ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高山 博和、以下「セカンドサイトアナリティカ」）は、株式会社 SBI 証券（本社：東京都港区、代表取締役社長：髙村 正人、以下「SBI 証券」）がミドル・バックオフィス領域で推進する AX の取り組みにおいて、現場の担当者が AI エージェントと対話しながら自ら業務を自動化できる「AI エージェント型 業務自動化基盤」（以下「本基盤」）を開発・提供しています。2026 年 7 月からは当社のデータサイエンティストが先行部門の現場に入り、担当者とともに自動化を進めており、自動化した業務はすでに複数の業務で活用されています。今後も、本基盤の改良と、安全に使い続けるための仕組みづくりを支援します。

■本取り組みの背景と概要

生成 AI の急速な進展により、企業の AI 活用は、個人単位での利用から、業務プロセスそのものの自動化へと広がりつつあります。

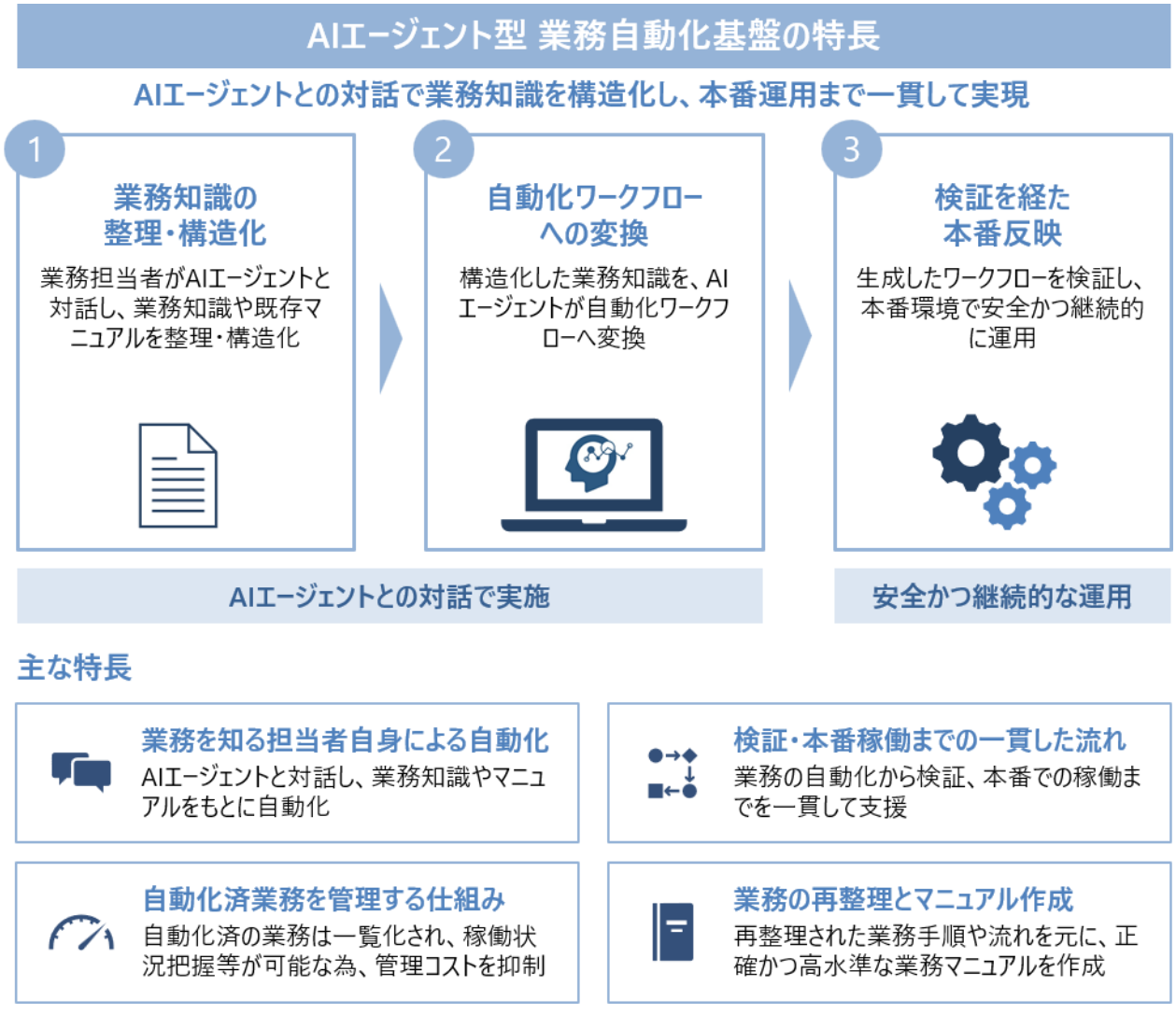
SBI 証券では、ミドル・バックオフィス領域の業務効率化に向け、AI を活用した業務自動化を推進しています。特に、AI の活用を一部の専門部門に限定せず、業務を熟知する現場の担当者が主体となって自動化・改善を進められる環境づくりを目指しています。

定型業務の自動化から着手し、判断を伴う業務にも対象を順次広げることで、作業負担の軽減と処理品質の向上を図り、担当者がより付加価値の高い業務に注力できる環境の実現を目指します。

■当社の AI エージェント型 業務自動化基盤の特長

当社が開発・提供する本基盤では、AI エージェントの対話を通じて、業務担当者が持つ業務知識や既存の業務マニュアルを整理・構造化し、自動化ワークフローへと変換します。生成したワークフローは、検証を経て本番環境に反映し、安全かつ継続的に運用できます。主な特長は次のとおりです。

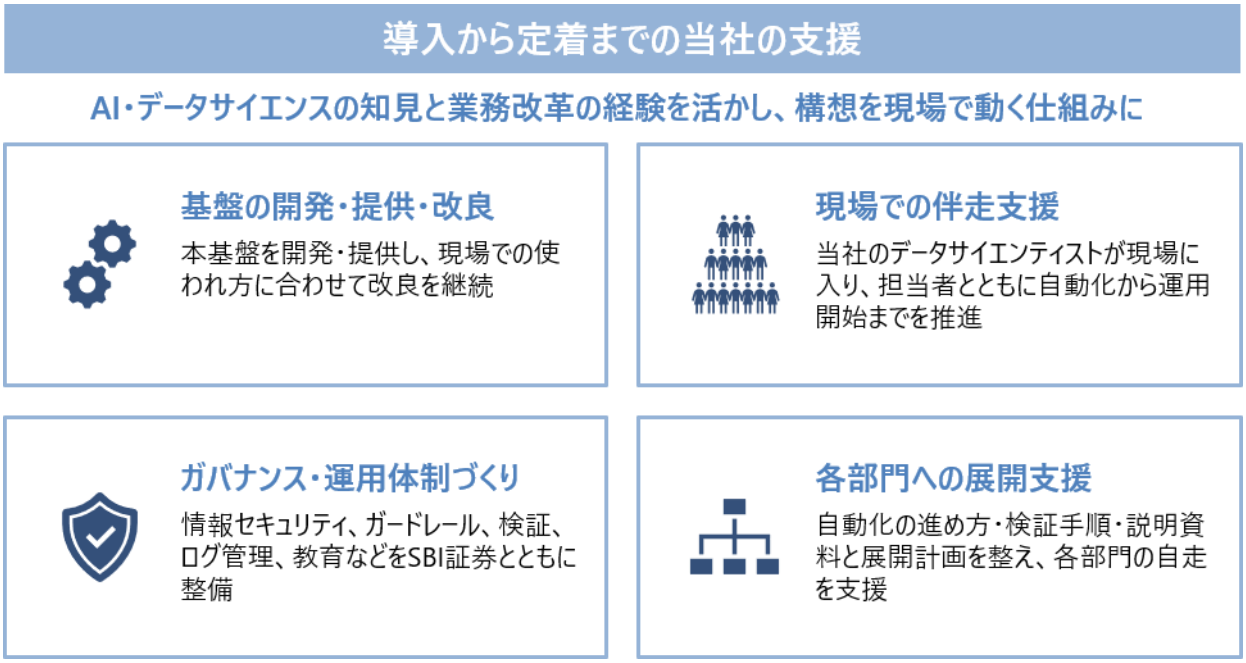
- 業務を知る担当者自身による自動化
- 検証・本番稼働までの一貫した流れ
- 自動化済業務を管理する仕組み
- 業務の再整理とマニュアル作成



■導入から定着までの当社の支援

当社は、これまで培ってきた AI・データサイエンスに関する専門的な知見と、金融業界をはじめとする企業の業務改革・AI 導入支援の経験を活かし、SBI 証券の構想を実際の業務で動く仕組みにするための支援を担っています。主な支援内容は以下のとおりです。

- 基盤の開発・提供・改良
- 現場での伴走支援
- ガバナンス・運用体制づくり
- 各部門への展開支援



■これまでの取り組みと今後の展開

先行部門では、2026 年 7 月から本基盤を使った自動化に取り組み、自動化した業務を日々の業務で活用しています。当社は、現場で得られた知見を、自動化の進め方や検証の手順に反映しています。

今後は、先行部門で得た知見を生かして、他部門への展開も見据えて取り組みを広げていく予定です。当社は、本基盤の改良と、AI の実行環境やガバナンス・運用体制の整備を通じて、こうした取り組みを支援し、AI 活用の推進と定着に貢献してまいります。

■会社情報

会社名	セカンドサイトアナリティカ株式会社
本社所在地	東京都千代田区神田西福田町 3 番地　RBM 神田ビル 6 階
代表者	代表取締役社長　高山 博和
ホームページ	https://www.sxi.co.jp/
事業内容	アナリティクスとテクノロジーを活用したサービスを提供する専門企業。 「AI」の核となる機械学習やディープラーニングなど新技術の R&D を行い、様々な業種・分野に対するアナリティクス・コンサルティングサービスと、それを動かす IT 基盤や AI サービス（プロダクト）を提供。

会社名	株式会社 SBI 証券
本社所在地	東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
代表者	代表取締役社長　髙村 正人
ホームページ	https://www.sbisec.co.jp/
事業内容	オンライン総合証券

＜本件に関するお問い合わせ先＞
セカンドサイトアナリティカ株式会社　広報・IR　担当：奥野
Tel：03-4405-9914　E-mail：press@sxi.co.jp